

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 8 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

- 1 (1) ①  (2) ②  (3) ③ 

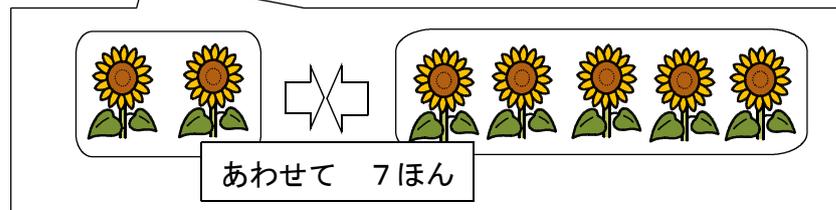
4 (●●●●) と
6 (○○○○○○) をあわせると
10 (●●●●○○○○○○) になります。

- 2 (1) ④ 

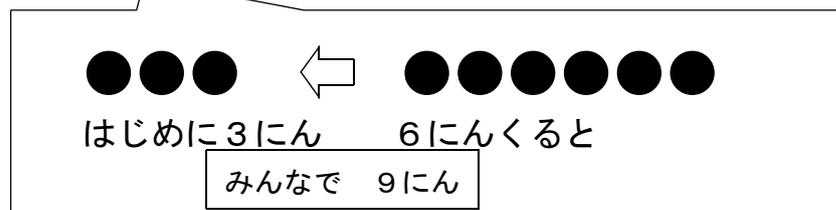
- (2) ⑤ 

- 3 ⑥ 

- 4 (1) ⑦ 



- (2) ⑧ 



〔算数〕 小2 組 番号

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 6 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

1

イ

6は、一のくらいに かきます。

2

(1)

2

ア 1

3

イ 2 8

(2)

4

ア

十のくらいから 一のくらいに 1くり下げて
いるので、5ではなく 4に なります。

3

5

イ

かさなっている 1cmぶんの 長さを ひきます。

4

6

ア、エ

〔算数〕小3 組 番氏名

★先生方へ～解答欄の11～12は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

- (1) 1 (2) 2 (3) 3

2

- 4 5

3

- (1) 6 (2) 7

$540 - 340 = 200$

540円出したときのおつりは200円で、100円玉が2枚になります。500円出したときのおつりは160円で、100円玉1まい、50円玉1まい、10円玉1まいとなり、540円出したときの方が、おつりのまい数としゆるいが少なくなります。

4

- 8 計算をふり返ってたしかめることが大切です。

5

- (1) 9

午前9時20分 午前9時45分

バスでいまで25分間

- (2) 10

時刻表(じこくひょう)を使(つか)って、次の①、②から、どのバスに乗(の)ればよいかを考えます。
 ①バスでいには10時15分に集合(しゅうごう)するので、乗(の)るバスは、10時15分よりあとになります。
 ②図書館までバスで20分かかるので、10時50分よりあとのバスでは11時におくれてしまいます。
 ①、②のことから、間に合う時刻(じこく)は午前10時20分、午前10時35分です。

6

- 11 アは、 3×12 でかけ算になります。
 イは、 12×3 でかけ算になります。
 エは、 $12 - 3$ でひき算になります。

7

- 12

〔算数〕小4 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 13 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

(1)

1 2

2 0

3 4

(2)

4 (正しい説明)
ウ

5 (筆算の答え)
ケ

2

(1)

6 エ

親のパンダの体重は、子どものパンダの体重の3倍です。

(2)

7 イ

3

(1)

8 ア

折(お)れ線グラフでは、線のかたむきが急なほど、変わり方が大きくなります。

(2)

9 2 4

度

一番高いのは8月の27度で、一番低(ひく)いのは1、2月の3度なので、差は、 $27 - 3 = 24$ で、24度となります。

(3)

10 エ

4

11 3 0 度

12 1 8 0 度

13 2 1 0 度

〔算数〕小5 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 10 は、の設問番号に対応しています。

1

(1) 1 60 の場所
イ

2 0.4 の場所
エ

3 □ の場所
ア

(2) 4 ②

問題場面を図や数直線などに表すことは、問題を解決する上で大切です。図や数直線などに表すことで、数量の対応や大小を捉えることができます。

2

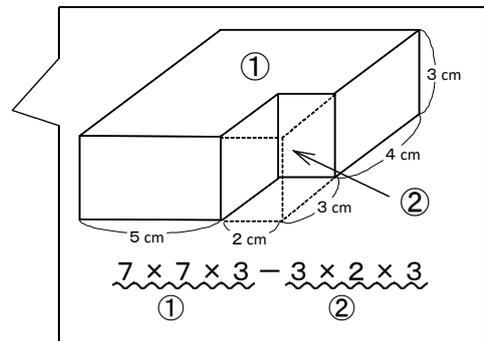
(1) 5 ウ

(2) 6 エ

3

(1) 7 エ

①-②の形で式が立てられています。
(① : $7 \times 7 \times 3$ ② : $3 \times 2 \times 3$)



(2) 8 イ

4

(1) 9 エ

(2) 10 21

身長約0.1倍が「一あた」なので、身長が140cmなら、「一あた」は、 140×0.1 (cm) です。使いやすいはしの長さである「一あたま」は、「一あた」の1.5倍なので、 $140 \times 0.1 \times 1.5 = 21$ (cm) になります。

〔算数〕小6 組 番 氏名

★先生方へ～解答欄の 1 ～ 11 は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

1

分数の意味や表し方に着目したり、かけ算やわり算の性質に着目したりして、計算の仕方考えることが大切です。

(1) 1 ウ

(2) 2 エ

(3) 3 (答え) ア、エ (完全解答)

4 (わけ) ③

2

(1) 5 1 2

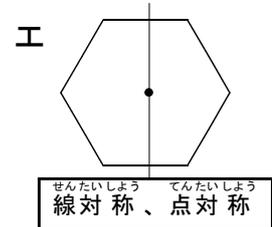
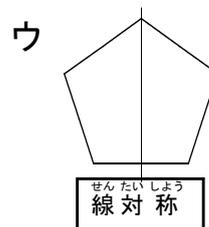
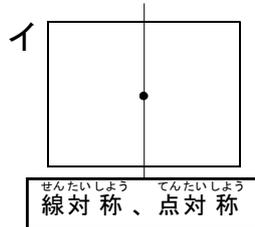
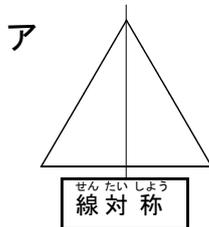
(2) 6 イ、エ (完全解答)

(3) 7 1 3 c m

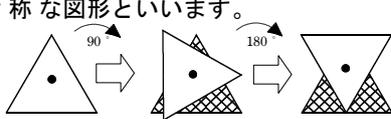
(4) 8 イ

3

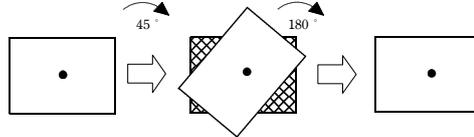
(1) 9 イ、エ (完全解答)



1つの点を中心にして180°回転させたとき、もとの図形とぴったり重なる図形を、点対称な図形といいます。



※正三角形を1つの点を中心にして180°回転させると、もとの図形とはぴったり重なりません。正三角形は点対称な図形ではありません。



※長方形を1つの点を中心にして180°回転させると、もとの図形とぴったり重なります。長方形は点対称な図形です。

(2) 10 方法 エ

11 わけ ②